

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年2月20日

上場会社名 西武鉄道株式会社

(コード番号: 9002 東証第1部)

(URL <http://www.seibu-group.co.jp/>)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 戸田 博之

問合せ先責任者 役職名 関連事業部長 氏名 白山 進

TEL:(04)2926 2073

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有 中間(連結)財務諸表の作成基準をベースとしつつ、一部簡便な方法を採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期の業績概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第3四半期	309,307	-	19,200	-	6,287	-	1,267	-
15年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)15年3月期	419,871		23,212		7,731		1,086	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
16年3月期第3四半期	3.03		-	
15年3月期第3四半期	-		-	
(参考)15年3月期	2.30		-	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示します。四半期業績の開示は当期より実施しておりますので、前年度同四半期の実績、増減率につきましては記載しておりません。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%	円	銭	
16年3月期第3四半期	1,169,766		56,647		4.8	135.40		
15年3月期第3四半期	-		-		-	-		
(参考)15年3月期	1,181,929		59,162		5.0	141.28		

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日 ~ 平成16年3月31日)

	予想売上高		予想経常利益		予想当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	
通 期	413,000		6,000		8,500	

(注) 当第3四半期の業績結果を踏まえ、平成15年11月21日に公表しました業績予想数値を修正しております。修正の内容等に関しましては、本日付けで公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成 16 年 3 月期第 3 四半期の業績概況

1. 経営成績

当第 3 四半期におけるわが国経済は、企業収益や株価の上昇など一部において回復が見られたものの、個人消費や雇用環境の低迷が続くなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループでは、鉄道事業における旅客誘致活動をはじめ、各事業部門にわたる積極的な営業活動の展開および資産の有効活用を継続して行い、収益力の確保に努めてまいりました。

この結果、当第 3 四半期の業績は、営業収益は 3,093 億 7 百万円、営業利益は 192 億円、経常利益は 62 億 8 千 7 百万円、当期（四半期）純利益は 12 億 6 千 7 百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

（運輸事業）

鉄道事業では、今年度より「西武沿線花さんぽ」をテーマとした旅客誘致活動を展開しておりますが、当第 3 四半期にかけて、埼玉県日高市にある巾着田の曼珠沙華のキャンペーンを行ったほか、恒例のハイキングを積極的に開催した結果、定期外旅客の輸送人員が 1.6%増加するなど、堅調に推移いたしました。

旅客自動車運送事業では、貸切バスは大型のイベントがなく、依然厳しい状況が続いたものの、乗合バスは、高速バスが好調だったことに加え、東京都区内および多摩地区の路線バスが増収になるなど、堅調に推移いたしました。

貨物自動車運送事業では、大手荷主の物量の減少および物流コスト削減要請による運賃単価の低迷が依然として続くなど、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、営業収益は 1,803 億 3 千 7 百万円、営業利益は 153 億 6 千 8 百万円となりました。

（レジャー・サービス事業）

ホテル・ゴルフ場業では、依然としてゴルフ場来場人員および消費単価が減少するなど、厳しい状況の中で推移いたしました。また、ホテルにおいては 4～12 月累計では、新型肺炎（SARS）の影響により減収となったものの、10～12 月では、積極的な営業活動を行った結果、SARS の影響が薄れたこともあり増収となりました。

娯楽・スポーツ業では、西武ドームにおいて、プロ野球日本シリーズの開催が無かったことなどにより、減収となりました。

この結果、営業収益は 829 億 9 千 2 百万円、営業損失は 20 億 4 千 9 百万円となりました。

（不動産事業）

不動産賃貸業が堅調に推移しているほか、不動産販売業では、お客様のニーズにあった販売活動を行い、早期の資金回収を図りました。

この結果、営業収益は 444 億 1 千 2 百万円、営業利益は 60 億 4 千 4 百万円となりました。

（その他の事業）

積極的な営業活動を進めるとともに、経営の効率化を図りましたが、請負業の収益計上が年度末に集中することから、営業収益は 15 億 6 千 5 百万円、営業損失は 2 億 1 千 5 百万円となりました。

2. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期末 (平成15年12月31日)	前連結会計年度 (平成15年3月31日)	増減
科目	金額	金額	金額
(資産の部)			
・流動資産	182,549	173,925	8,624
1. 現金及び預金	48,284	39,334	8,950
2. 受取手形及び売掛金	28,842	29,088	246
3. 有価証券	33	82	49
4. 分譲土地建物	74,500	79,756	5,255
5. たな卸資産	3,910	3,212	698
6. 繰延税金資産	7,445	7,641	196
7. その他	21,915	17,248	4,666
貸倒引当金	2,382	2,439	57
・固定資産	987,216	1,008,004	20,787
A 有形固定資産	912,113	939,027	26,913
1. 建物及び構築物	473,899	493,720	19,821
2. 機械装置及び運搬具	57,847	59,976	2,128
3. 土地	344,920	350,136	5,216
4. 建設仮勘定	28,563	27,267	1,295
5. その他	6,883	7,926	1,043
B 無形固定資産	16,962	18,319	1,357
1. 連結調整勘定	9,487	9,900	412
2. その他	7,474	8,419	944
C 投資その他の資産	58,140	50,657	7,483
1. 投資有価証券	36,315	30,692	5,623
2. 長期貸付金	349	373	24
3. 繰延税金資産	16,281	13,702	2,578
4. その他	6,273	6,980	706
貸倒引当金	1,079	1,091	11
資産合計	1,169,766	1,181,929	12,163

(単位：百万円)

	当第3四半期末 (平成15年12月31日)	前連結会計年度 (平成15年3月31日)	増減
科目	金額	金額	金額
(負債の部)			
・ 流動負債	427,543	472,153	44,610
1. 支払手形及び買掛金	27,495	31,692	4,197
2. 短期借入金	326,249	361,741	35,492
3. 未払法人税等	4,257	6,543	2,285
4. 前受金	11,979	9,158	2,820
5. 賞与引当金	2,844	6,051	3,207
6. その他	54,716	56,966	2,249
・ 固定負債	652,239	615,032	37,206
1. 長期借入金	486,418	449,736	36,681
2. 繰延税金負債	9,748	9,732	16
3. 再評価に係る繰延税金負債	21,858	21,858	
4. 退職給付引当金	33,618	32,116	1,501
5. その他	100,595	101,588	993
・ 特別法上の準備金	23,455	25,587	2,132
1. 特定都市鉄道整備準備金	23,455	25,587	2,132
負債合計	1,103,237	1,112,773	9,536
少数株主持分	9,881	9,993	112
(資本の部)			
・ 資本金	21,665	21,665	
・ 資本剰余金	2,875	2,744	131
・ 利益剰余金	1,938	1,884	54
・ 土地再評価差額金	41,948	41,977	28
・ その他有価証券評価差額金	2,434	144	2,290
・ 為替換算調整勘定	2,208	7,734	5,525
・ 自己株式	16,425	16,988	562
資本合計	56,647	59,162	2,514
負債、少数株主持分及び資本合計	1,169,766	1,181,929	12,163

3. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期	前連結会計年度
	自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日	自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日
	金 額	金 額
・ 営業収益	309,307	419,871
・ 営業費	290,106	396,659
1. 運輸業等営業費及び 売上原価	280,155	380,906
2. 販売費及び一般管理費	9,950	15,752
営業利益	19,200	23,212
・ 営業外収益	1,604	3,259
1. 受取利息	232	284
2. 受取配当金	348	311
3. 持分法による投資利益		371
4. その他	1,022	2,291
・ 営業外費用	14,517	18,739
1. 支払利息	12,180	18,106
2. 持分法による投資損失	1,765	
3. その他	571	632
経常利益	6,287	7,731
・ 特別利益	3,355	11,407
・ 特別損失	3,903	11,934
税金等調整前 四半期(当期)純利益	5,739	7,204
法人税、住民税及び 事業税	8,416	8,959
法人税等調整額	3,819	2,596
少数株主損失	126	244
四半期(当期)純利益	1,267	1,086

4. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期(自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日)

	運輸事業 (百万円)	レジャー・ サービス 事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益及び営業損益							
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	180,337	82,992	44,412	1,565	309,307		309,307
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	308	96	126	91	622	(622)	
計	180,645	83,089	44,538	1,656	309,930	(622)	309,307
営業費	165,277	85,138	38,494	1,872	290,782	(676)	290,106
営業利益又は営業損失()	15,368	2,049	6,044	215	19,147	53	19,200

前連結会計年度(自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)

	運輸事業 (百万円)	レジャー・ サービス 事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益及び営業損益							
営業収益							
(1) 外部顧客に対する 営業収益	238,606	112,991	65,054	3,219	419,871		419,871
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	359	146	94	344	945	(945)	
計	238,965	113,137	65,149	3,563	420,816	(945)	419,871
営業費	221,174	115,830	57,343	3,386	397,734	(1,075)	396,659
営業利益又は営業損失()	17,791	2,692	7,806	176	23,081	130	23,212